

令和7年10月10日発行 第110号

こころの花

施設理念

- ・ ノーマライゼーションの実現及び
セーフティーネットの一翼を担う施設
- ・ 地域の財産となる施設

施設方針

- ・ ご利用者への懇切、丁寧、誠実な対応
- ・ 安全管理とコンプライアンスの徹底
- ・ 人間力の強化による柔軟な発想と行動

発行：よなご大平園
〒689-3541

鳥取県米子市二本木1690

TEL 0859-56-6226

FAX 0859-56-6228

ホームページへのアクセスはこちらのQR
コードからご覧いただけます。



よなご大平園GOODフェスティバル

コロナ禍を経て8年ぶりに地域との交流を目的とした「よなご大平園GOODフェスティバル」を開催しました。

ステージイベントは、よなごがいな太鼓『響子供連』による迫力ある演奏で開会しました。『陸上自衛隊米子駐屯地万燈部』によるがいな万燈では、大きな万燈を力強く持ち上げ雄大な姿を見ることができました。息の合った鳴子ダンスやヒップホップダンス。聞き馴染みのある曲を披露しながら、観客と一体となり会場が盛り上ったゴスペルオーブによるコンサートなど、様々なステージイベントがあり盛大なGOODフェスティバルとなりました。



焼きそば、フランクフルト、ワッフル等の屋台が並び、『ボンジュール』の店舗では新商品の塩パンアイスプリンやクッキーの販売がありました。

『健康教室』では、お酒を飲まないことを楽しむソバーキュリアスに着目した取り組みを行い、ノンアルコール飲料の試飲と低糖質ナッツを提供しました。また、『目久美』による骨密度検査が実施されました。





祝敬老

今年は13名の方が敬老者となり、式典では施設長、自治会長よりお祝いの言葉と拍手で暖かい雰囲気になりました。お祝いのメッセージカードも照れながら受け取っておられた姿が印象的でした。



式典後は昭和歌謡曲の動画を視聴し昔を懐かしみました。昼食は特別メニュー『お祝い膳』を食べ「豪華だなあ〜。」「美味しいね。」との声を頂きました。楽しい時間はあっという間でした。これからも、笑顔あふれる時間を一緒に過ごして行きましょう。

就労継続支援B型事業 親善球技大会参加

7月12日に第52回鳥取県知的障がい関係施設親善球技大会が開催され、よなご大平園からはボウリングとフライングディスクの2競技に計8名で参加しました。



ボウリング



フライングディスク



みんなで声を掛け合い、ボウリングは団体の部で2位、フライングディスクはディスタック部で3位に入賞しました。来年のご活躍も期待しています♪

暑気払い行事



施設行事で暑さを乗り切ろうと暑気払いを行い、昼食では施設メニューでデミカツ丼を提供しました。「初めて食べました。とても美味しかったです!」「ボリュームがあって、お腹いっぱいになった。」と好評いただきました。

午後からは、職員によるリサイタルショー♪「島人ぬ宝」「上を向いて歩こう」「夏の思い出」「ふるさと」などの7曲を披露し、ご利用者の方々と一緒に合唱しました。懐かしい曲を聴き「昔によく歌った」「小さい頃を思い出すわ」と楽しんで頂き演奏が終了するとアンコールがあり、最後に「幸せなら手をたたこう」を皆さんで歌いました。

行事の締めくくりには、ソルベとシャーベットの盛り合わせに塩サブレをトッピングしたデザートを提供しました。暑さが続きましたがひんやりデザートで暑気を払えました。



自転車講習会



就労継続支援B型事業のご利用者を対象に開催しました。はじめに交通安全の動画を視聴し、その後、自転車の点検を行いました。ブレーキのかけ方や適切な空気圧について実際に学びました。



生活介護事業・日中一時事業 活動の様子

【日中一時】お月見工作

中秋の名月を前に「お月見工作」を行いました。まん丸お月様とおいしそうなお団子が完成しました。



【生活介護】Switchにチャレンジ

みなさんで「太鼓の達人」に挑戦！
なかなか難しいですが練習して披露できるようになりたいですね。



サツマイモの収穫をしました。

よどえババール園の園児のみなさんと植えたさつまいもが実り一緒に収穫をしました。大きな芋に驚きながら楽しく収穫することができました。



職員紹介

7/10採用

調理員 江原 聡子



よなご大平園をご利用される方々に喜ばれる料理を提供できるよう日々頑張っております。よろしくお願いいたします。

9/1採用

支援員 原田 恵美子



ご利用者が自然と笑顔でいられる支援を目指してまいります。よろしくお願いいたします。